

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年6月9日記入

基本目標	Ⅲ ▼ 躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	31130
政策名 (章)	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします	評価担当課	経済部 ▼
基本施策名 (節名)	第1節 活力ある産業の振興		産業振興課
施策名	産業支援基盤の整備	課長名	三沢 賢一

1 施策の概要・目的

創業期のベンチャー企業などの支援・育成を図る、さがみはら産業創造センターの整備促進など、産業基盤整備の充実に努める。

2 施策の現状

さがみはら産業創造センターについては、創業間もないベンチャー企業が入居する「さがみはら産業創造センター1」と、創業後に規模拡大を目指す企業等が入居する「さがみはら産業創造センター2」の2つの施設が整備され、創業支援を行っている。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

632,077 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

1,026 円/人……人口は、61.6 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 47 番目です。

(4) 施策に要している人員

0.01 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	インキュベーション(起業者保護・保育)施設の建設	起業希望者が入居し様々な支援を受けることの出来る施設の設置・充実度	2	2	100%	14
			施設 単位	施設 単位		達成度
指標2	賃貸工場等の整備促進	中期実施計画を踏まえた新たな目標の設置	0	3	0%	18
			施設 単位	施設 単位		達成度
指標3			単位	単位		0%
			単位	単位		達成度
						%

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

新たなビジネスチャンスを求めての起業家が增大する中、インキュベーションマネージャー(起業者の支援・監督者)を中心とした起業支援を行う入居施設を提供することは、時宜に応じたものである。

6 有効性…期待される効果があがっているか

さがみはら産業創造センターでは支援内容の異なる2つのインキュベーションセンター(起業者保護・保育センター)が設置されているが、起業支援施設の入居率は90%を超えるなど、起業者へのハード面・ソフト面にわたる支援が評価されている。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

起業支援を行政が行うことに比較し、株式会社組織のさがみはら産業創造センターでは柔軟な対応が図られ、費用面でも廉価で行うことが出来る。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

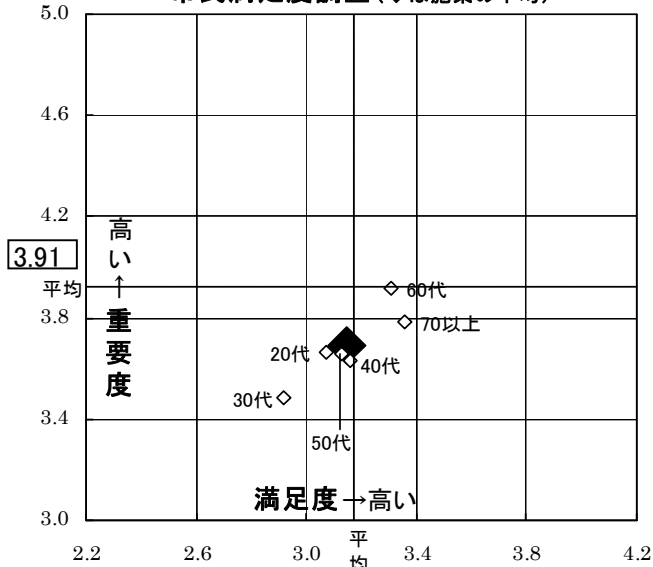
◆この施策の満足度は、3.149で、調査した51施策の中で26番目です。

◆この施策の重要度は、3.689で、調査した51施策の中で39番目です。

◆この施策の改善要望度は、0.382で、調査した51施策の中で34番目です。

◇年齢別にみると、満足度及び重要度ともに60歳代以上で高く、30歳代で最も低くなっています。満足度が高いほど重要度も高くなる傾向がみられます。

市民満足度調査(◆は施策の平均)



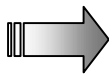
市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

厳しい財政状況が続く中、新たな施設を整備するのではなく、公のみならず民間の既存施設をも有効活用する視点と、個々の施設・機能の特性を生かした有機的な連携が必要とされる。また、新たな基盤整備として、起業支援の一端としての賃貸工場の整備や企業の作業環境を高める物流の効率化については最優先課題となってきている。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

さがみはら産業創造センターの既存施設については、用途地域から生産施設の建設が不可能であり、今後の基盤整備の方策としては、入居企業が退去後に本格操業を開始する際に利用可能となる賃貸工場等の整備が必要とされる。

また、産業を活性化させると同時に環境保全を図る物流の効率化の前提となる拠点整備など、都市基盤整備の方向性も検討することとする。

11 2次評価

説明
<input type="checkbox"/> A
<input type="checkbox"/> B
<input checked="" type="checkbox"/> C

本市の立地特性を生かした産業の活性化に向け、市と関係機関との役割について再構築を行うとともに、本市の産業を取り巻く環境に対応した基盤整備のあり方について検討すること。

12 外部意見

説明
既存の製造業者の市外移転、さがみ縦貫道路の整備など本市を取り巻く環境の変化に適切に対応し、必要な整備・措置を効率的に実施すべきである。

施策名 産業支援基盤の整備

施策コード 31130

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額(千円)	人員(人)	評価の概要								施策中の優先順位	
					総合評価	達成度	必要性	効率性	代替性	満足度	有効性	公平性		今後の進め方
西橋本連絡所経費	産業振興課	15	4,064	0.00	AAA	A	A	A			A	A	完了	
施設管理運営費(相模原商工会議所分)	産業振興課	15	93,000	0.00	AA	B	A	A			A	A	継続	1
㈱さがみはら産業創造センター出資金	産業振興課	14	535,013	0.01	AAA	A	A	A	A	A			完了	

合計 3 事務事業

632,077 千円 0.01 人
 平成14年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度
 平成15年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、公平性